

大会要項

■大会名称

神戸マラソン2026（英文名：KOBE MARATHON 2026）
MGCシリーズ2026-27（男子G2/女子G3）

■主催

兵庫県/神戸市/一般財団法人兵庫陸上競技協会

■共催

神戸新聞社/朝日新聞社

■企画・運営

神戸マラソン実行委員会

■主管

一般財団法人兵庫陸上競技協会

■後援(予定)

兵庫県教育委員会/神戸市教育委員会/公益財団法人日本陸上競技連盟/公益財団法人兵庫県スポーツ協会/公益財団法人神戸市スポーツ協会 他

■特別協賛(予定)

シスメックス株式会社

■協賛(予定)

株式会社みなと銀行/株式会社城山ホールディングス/山陽電気鉄道株式会社 他

■特別協力(予定)

公益財団法人神戸市スポーツ協会

■協力(予定)

大阪ガスネットワーク株式会社/株式会社神戸国際会館/株式会社こうべ未来都市機構 他

■種目

マラソン（42.195km） / リレーラン(第1区約21.6km/第2区約21.2km)

■日時

2026年11月15日(日)

9:00 第1ウェーブスタート

9:15 第2ウェーブスタート

12:30 第2区ランナー最終スタート予定(第1区ランナー未到着の場合)

16:00 終了

■コース

神戸市役所前をスタートし、明石市大蔵海岸付近を折り返し、神戸ハーバーランド(神戸ガス燈通り)をフィニッシュとする日本陸上競技連盟(以下、日本陸連)及びワールドアスレティックス(以下、WA)/AIMS公認コース

※リレーランは大蔵海岸東駐車場付近を中継地点とする非公認コース

■競技規則

最新のWA規則並びに日本陸連競技規則、本大会の規定による。

また、本大会はWAが認定するWAラベルレースであるため、World Athletics Label Road Races Regulations(WAラベルロードレース規定)が適用される。

なお、WA規則により、ドーピング検査を実施する。

※リレーランは非公認レースであるが、上記競技規則に準じて実施する。

■制限時間

7時間

※制限時間は第1号砲を基点とする。

※交通・警備、競技運営上、コース途中に閉鎖関門を設ける。閉鎖関門以外でも著しく遅れた場合は、競技の中止を促すことや指示することがある。

■定員

マラソン 20,000人

※神戸マラソン応援ランナー枠(ふるさと納税)、シード枠、年代別チャレンジ枠、海外居住者枠、被災地枠(能登半島地震の被災地居住者が対象)、障がい者枠(身体障害者手帳等をお持ちの方)、U30初出場枠、沿道市民枠(神戸・明石市民枠)、団体ボランティア出走枠等を含む。

リレーラン 150組 300人

■参加資格

2008年(平成20年)4月1日以前に生まれた者

(1) 登録:日本陸連登録者

(2) 登録以外:日本陸連登録者以外

※(1)、(2)ともに、本大会が推薦する国内・国外の競技者を含み、6時間30分以内に完走できる者

※リレーランについては2人1組で6時間30分以内に完走できる者。性別の組み合わせは自由だが、補欠登録は認めない。

※出走権の譲渡及び代理出走は禁止する。不正が発覚した場合は失格とする。

※公序良俗に反し、スポーツイベントにふさわしくない服装・仮装等は認めない。また、日本陸連登録者の仮装は禁止する。

※マラソン、リレーランともに車いすでの参加はできない。

※マラソン、リレーランともに障がい者で単独走行が困難な者は、伴走者を1人つけることができる(盲導犬の伴走はできない)。

障がい者は、ランナー受付時に身体障害者手帳等を持参すること。

■参加料

マラソン 国内:18,000円 海外:24,200円

リレーラン 30,400円(2人分)

※手数料別途

※チャリティ募金200円(1人あたり)を含む

※チャリティ募金は、神戸マラソンフレンドシップバンクで活用する。

※手荷物預かり無しを希望される方は参加料が1,000円引きになる。

■申込方法

マラソン

個人エントリー ①登録 ②登録以外

グループエントリー(2~3人) 登録以外

リレーラン(2人1組)

(1) 方法 インターネットで申し込むこと

※個人エントリーとグループエントリーの重複申し込みはできない。

※マラソンとリレーランの重複申し込みはできない。

(2) 期間 2026年4月17日(金)正午から6月1日(月)17:00まで

(3) 参加者の決定 定員を超えた場合は、マラソン、リレーランともに抽選を行う。

※神戸マラソン応援ランナー枠(ふるさと納税)は先着順

- (4) 抽選結果 2026年7月2日(木)にRUNNETからEメールで通知する(RUNET Myページでも確認可)。
- (5) 参加料入金 当選者は指定期日までに指定口座に参加料を入金すること
入金がない場合、当選は無効とする。

■ランナー受付

- (1) 日時/2026年11月13日(金) 13:00~20:00(最終入場)
14日(土) 10:00~19:00(最終入場)
- (2) 場所/神戸国際展示場1号館1階(EXPO会場)
※上記時間帯のみとし、大会当日(11月15日)の受付は行わない。ただし、神戸マラソン応援ランナー枠は当日受付可。
※伴走者も上記日時に受付を行う。
※本人確認を行うので必ず本人確認書類(原本)を持参すること(代理人不可)。
※障がい者は、身体障害者手帳等(原本)を持参すること
※リレーランの受付は必ず出走者2人が揃って行うこと。どちらか1人での受付、個別の受付、代理受付はできない。

■表彰

- (1) 総合(グロスタイム):男女各1位~8位
- (2) 神戸マラソン・ジャパントップ8(グロスタイム):日本国内居住者(国籍不問)のうち男女各1位~8位
- (3) ライジングスター賞(グロスタイム):2003年4月2日以降生まれで日本国籍者(国内居住者に限る)のうち男女各1位
※同一選手の受賞は一度限りとする。
- (4) 年代別(ネットタイム):5歳刻みの男女各1位~8位
※(1)、(2)、(3)の表彰対象者を除く。
- (5) 神戸マラソン連続入賞者:2024大会以降、3大会連続で入賞した者
※(1)、(2)、(3)、(4)の組み合わせは問わない。
※過去に同賞を受賞した者は、対象外
- (6) KOBE MARATHON LAST SPURT CHALLENGE【設定タイム突破者限定チャレンジ】
日本国内居住者(国籍不問)のうち35kmからフィニッシュまでの7.195km区間を最も速く走った男女各1人
※(1)、(2)、(3)の表彰対象者を除く。
※設定タイムは男子:2時間45分以内 女子:3時間30分以内
- (7) リレーランの記録計測は行うが、順位付けを含めて表彰は行わない。

■記録証

マラソン、リレーランペアの完走者(中継地点でたすきが引き継がれ第2区ランナーも完走された場合)には、記録証を発行する。各自RUNNETからのダウンロードによる形式とする。

※マラソンは30kmの途中通過記録も公認される。ただし、日本陸連登録者で完走者が対象

※日本陸連登録者は、この記録証を兵庫陸協が発行の記録証として利用することができる。

■競技エリア内で着用できる衣類と持ち込める物品について

別紙のとおり

■ドーピングコントロール

別紙のとおり

■シューズコントロール

別紙のとおり

■個人情報について

主催者は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、抽選、参加案内、関連情報の通知、大会共催・協賛・協力・関係団体からのサービスの提供、応急処置や医療機関との連携、記録発表(ランキング等)等に利用する。

なお、本大会運営にかかわる範囲内で、関係事業者(アボット・ワールドマラソンメジャーズを運営するアメリカ合衆国所在の World Marathon Majors LLCや東京マラソン財団を含む)に対して提供することがある。

※主催者又は神戸マラソンランナーコールセンターから申し込み内容に関する確認連絡をすることがある。

※参加者は個人情報の扱いに同意したうえでエントリーをすること

■その他

- (1) 主催者の責によらない事由(警報・地震・風水害・降雪・事件・事故・疾病等)で大会が中止・縮小となった場合、参加料等の返金は一切行わない。
- (2) 基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧、透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者等)を持っている者は申込(エントリー)を見合わせる。
- (3) 参加者が預けた手荷物は、スタート地点から、フィニッシュ地点またはリレーラン中継点へ主催者で搬送する。
- (4) 大会当日の公共交通機関、道路事情による遅刻について、主催者は一切責任を負わない。
- (5) 大会会場(コース上を含む)に企業名・商品名等を意味する図案及び商標等、広告的なものを身につけたり表示したりすることを禁止する。
- (6) 大会では、主催・共催・協賛などが使用するもの以外のドローン及びそれに類する無人飛行機の持ち込み・操縦・飛行等を禁止する。
- (7) 大会の映像、写真、記事、位置情報、参加者の名前、年齢、居住地(都道府県名又は市町村名)、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット、主催者が発行する印刷物等への掲載権と肖像権は主催者に帰属する。
- (8) 大会の写真等について、主催者又は主催者が認めた者が、販売、展示等する場合があります、これらの使用にあたっては生成AIを含む各種デジタル技術を用いて編集、加工を行う場合がある。
- (9) 本大会は、アボット・ワールドマラソンメジャーズの「ワンダ・エイジグループワールドランキング」の予選大会となる。
- (10) 参加料等の領収書について
 - クレジットカード決済の場合
領収書の発行は行わない。クレジットカード会社発行の【明細書】又は【請求書】を利用すること
 - コンビニエンスストアで支払いの場合
領収書の発行がない場合は、【明細書兼受領書】を領収書に代える。
- (11) 参加者に欠員が出た場合、落選者を対象に再抽選を行うことがある。
- (12) 本大会は国内の関連するすべての法律等を遵守し、実施されるものとする。
- (13) 大会参加に関しては十分にトレーニングし、事前に健康診断を受診する等、体調には万全の配慮をした上で参加すること
- (14) 上記の他、大会に関する事項については主催者の指示に従うこと

I. 競技エリア内で着用できる衣類と持ち込める物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。なお、マスキングによりウエアやプリントなどに不具合が生じても主催者は責任を負わない。

アスリートキット

- (1) 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウオームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

上衣 下衣 [それぞれ最大の大きさ]

- ・ 製造会社名/ロゴ:それぞれ1箇所40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
 - ・ スポンサー名/ロゴ:それぞれ1箇所40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
- 上衣・下衣とも全く同一の表示でなければならない。

- ・ 所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ:

上衣 前後 各1箇所 *前面の最大高さ5cm、背面の最大高さ5cm

下衣 前後 いずれかに1箇所 *最大高さ5cm

それぞれ長さは問わない。

- * 学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のキットや衣類など

(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラスなど)

- ・ 製造会社名/ロゴ:(1つに)1箇所10cm²まで(最大高さ4cm、あるいは最大長さ4cm、面積10cm²)
- ・ 所属団体名/ロゴ:1箇所10cm²まで
- ・ 学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ:1箇所 大きさを問わない。

- * メガネ・サングラスのロゴは二箇所まで

個人の所有物およびアクセサリ

- (1) タオル バッグ

- ・ 製造会社名/ロゴ:1箇所 40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
- ・ スポンサー名/ロゴ:2箇所 40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
- ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアハッシュタグ:1箇所 40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)

- * タオル、バッグについては下記の通りとする。

すべてのタオル(ビーチ、バス、ハンド、フェイス)およびブランケット

- ・ 製造会社名/ロゴ:1箇所
- ・ アスリートスポンサー名/ロゴ ★:2箇所
- ・ 競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグ:1箇所
⇒それぞれ40cm²まで(高さ5cm、長さ10cm)

すべてのバッグ(タグとラベルを含む)

- ・ 製造会社名/ロゴ:1箇所
- ・ アスリートスポンサー名/ロゴ ★:2箇所
- ・ 競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグ:1箇所
⇒それぞれ40cm²まで(高さ5cm、長さ10cm)

- * アスリートスポンサー名/ロゴのうち一つを、あるいは、競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグを所属団体名/ロゴ(最大高さ5cm、長さに制限なし)または、学校名/ロゴ(大きさに制限なし)にすることができる。

- (2) ドリンクボトル(最大1リットルのボトル)

- ・ ドリンクの提供者、製造会社、および(または)アスリートスポンサー名/ロゴ:2つ/2箇所 それぞれ40cm²まで(高さ5cm)

- * ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと

II. ドーピングコントロール

- (1) 本競技会は、WAアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること
- (2) 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること
- (3) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。
- (4) 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト(<https://www.realchampion.jp>)を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。
- (5) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること
- (6) 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となることがあることに留意すること
- (7) TUE申請については、禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は”治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸連医事委員会のウェブサイト:<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>又は JADA のウェブサイト:<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること
- (8) WAアンチ・ドーピング規則および規程、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、WAまたは JADA のウェブサイトにて事前に確認すること

III. シューズコントロール(「競技用靴に関する規程」WA:C12.1A 参照)

- (1) 競技者はWA承認シューズリスト(<https://certcheck.worldathletics.org/>)に掲載され、競技会使用解禁日を経過しており、当該種目での使用が認められているモデルを着用しなければならない。
シューズリストに掲載されているモデルでも使用できない種目があるので特に注意すること
- (2) 承認シューズでも「開発段階の試作靴」(一般発売前のプロトタイプ)を使用する場合は、そのシューズを使用する競技会をWAに申請しなければならない。
- (3) 使用したシューズが競技後にチェック対象となる場合がある。
使用が認められていないシューズの着用が確認された場合は失格の対象となる。
- (4) 世界記録達成時や、その他、審判長が必要と判断した場合は当該シューズを回収し、詳細検査を実施するため検査機関に送付する。詳細検査ではシューズが切断等される場合がある。
競技者は競技に使用するシューズのモデル名を把握しておくこと

I. 競技エリア内で着用できる衣類と持ち込める物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の様になっている。事前に確認しておくこと。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。なお、マスキングによりウエアやプリントなどに不具合が生じても主催者は責任を負わない。

アスリートキット

- (1) 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウオームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

上衣 下衣 [それぞれ最大の大きさ]

- ・ 製造会社名/ロゴ:それぞれ1箇所40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
 - ・ スポンサー名/ロゴ:それぞれ1箇所40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
- 上衣・下衣とも全く同一の表示でなければならない。

- ・ 所属団体名/ロゴ、学校名/ロゴ:

上衣 前後 各1箇所 *前面の最大高さ5cm、背面の最大高さ5cm

下衣 前後 いずれかに1箇所 *最大高さ5cm

それぞれ長さは問わない。

- * 学校名/ロゴに関しては、上衣・下衣 大きさの規制なし

- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のキットや衣類など

(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラスなど)

- ・ 製造会社名/ロゴ:(1つに)1箇所10cm²まで(最大高さ4cm、あるいは最大長さ4cm、面積10cm²)
- ・ 所属団体名/ロゴ:1箇所10cm²まで
- ・ 学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ:1箇所 大きさを問わない。

- * メガネ・サングラスのロゴは二箇所まで

個人の所有物およびアクセサリ

- (1) タオル バッグ

- ・ 製造会社名/ロゴ:1箇所 40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
 - ・ スポンサー名/ロゴ:2箇所 40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
 - ・ 競技者名/競技者個人のソーシャルメディアハッシュタグ:1箇所 40cm²まで(最大高さ5cm、最大長さ10cm)
- * タオル、バッグについては下記の通りとする。

すべてのタオル(ビーチ、バス、ハンド、フェイス)およびブランケット

- ・ 製造会社名/ロゴ:1箇所
- ・ アスリートスポンサー名/ロゴ ★:2箇所
- ・ 競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグ:1箇所
⇒それぞれ40cm²まで(高さ5cm、長さ10cm)

すべてのバッグ(タグとラベルを含む)

- ・ 製造会社名/ロゴ:1箇所
- ・ アスリートスポンサー名/ロゴ ★:2箇所
- ・ 競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグ:1箇所
⇒それぞれ40cm²まで(高さ5cm、長さ10cm)

- * アスリートスポンサー名/ロゴのうち一つを、あるいは、競技者名または個人のソーシャルメディアハッシュタグを所属団体名/ロゴ(最大高さ5cm、長さに制限なし)または、学校名/ロゴ(大きさに制限なし)にすることができる。

- (2) ドリンクボトル(最大1リットルのボトル)

- ・ ドリンクの提供者、製造会社、および(または)アスリートスポンサー名/ロゴ:2つ/2箇所 それぞれ40cm²まで(高さ5cm)
- * ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと

II. ドーピングコントロール

- (1) 本競技会は、WAアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること
- (2) 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること
- (3) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。
- (4) 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト(<https://www.realchampion.jp>)を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。
- (5) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること
- (6) 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となることがあることに留意すること
- (7) TUE申請については、禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は”治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、
日本陸連医事委員会のウェブサイト:<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>
又は JADA のウェブサイト:<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>
を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること
- (8) WAアンチ・ドーピング規則および規程、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、WAまたは JADA のウェブサイトにて事前に確認すること

Ⅲ. シューズコントロール(「競技用靴に関する規程」WA:C12.1A 参照)

- (1) 競技者はWA承認シューズリスト(<https://certcheck.worldathletics.org/>)に掲載され、競技会使用解禁日を経過しており、当該種目で使用が認められているモデルを着用しなければならない。
シューズリストに掲載されているモデルでも使用できない種目があるので特に注意すること
- (2) 承認シューズでも「開発段階の試作靴」(一般発売前のプロトタイプ)を使用する場合は、そのシューズを使用する競技会をWAに申請しなければならない。
- (3) 使用したシューズが競技後にチェック対象となる場合がある。
使用が認められていないシューズの着用が確認された場合は失格の対象となる。
- (4) 世界記録達成時や、その他、審判長が必要と判断した場合は当該シューズを回収し、詳細検査を実施するため検査機関に送付する。詳細検査ではシューズが切断等される場合がある。
競技者は競技に使用するシューズのモデル名を把握しておくこと